



第202回中国理解講座 2025年の干支「乙巳」切り絵制作体験

剪纸から切り絵へ



講師：望月めぐみ氏（切り絵作家）

12
21
SAT.
13:00-14:30

デジタル加工が普及している現代においても、コツコツと手で作る切り絵の人気の途切れることはありません。切り絵が日本で広く親しまれるようになったのは、昭和30年代～40年代にかけて、日中友好化の過程で中国の剪纸が伝わり愛好者が増えた経緯があります。講義では発祥の地である中国の剪纸から現代の芸術表現としての切り絵に至る歴史をスライドでたどります。また、第二部の切り絵の制作体験では、来年2025年の干支「乙巳（きのとみ）」を題材にナイフで紙を刻む感触をお楽しみいただきます。切り絵を飾って新年をお祝いしましょう。（会場：立命館孔子学院講義室）

お申込み・お問合せ 立命館孔子学院（国際平和ミュージアム3階）

603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデミア立命21内
TEL 075-465-8426 Mail koza@st.ritsumeikan.ac.jp <https://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/>

参加無料
（要事前申込）

